

**七夕まつり、交通実験、そして今 『平成21年度の活動報告 ～通りの改善運動を中心に～』**

このシリーズは、この豊中駅前を、まちの多くの人々が願う『安全で安心して楽しく歩き回れるまち』にするにはどのようにしていけば良いかをみなさんと共に考えて行きたいと企画しました。ご意見、ご感想をFAX又はメールにてお寄せ下さい。

豊中駅前まちづくり推進協議会 事務局

**連絡先** FAX: 06 - 6858 - 6190 / メール: at.machi@mail.tmconet.com

この1年間は、駅前のまちづくりにとって大きな成果が3つありました。

その中で、一つ目は、協議会が歩行者アンケートを実施したこと、2つ目が市から“都そば前”道路の改善案の説明があったこと、そして、3つ目がようやく刀根山道の舗装工事着工の目途が立ったことです。

**1. 歩行者アンケートについて**

集計結果は、本「まちづくりニュース」3月中旬号から5月上旬号まで4回に分け掲載したとおりです。このアンケートは協議会のメンバーが手分けし100名以上の方から回答を得ました。またその集計結果から、長い時間やお金をかけなくても改善の方策があることが判りました。これは、これからの駅前のまちづくりにとって大変有意義な事だったと思います。皆さまには6月に開催予定の協議会の総会でご報告する予定です。是非、ご出席の上、ご確認下さい。今回のアンケートは、市が長い間そのままになっていた「豊中駅前のまちづくりについての基本方針」を時代に合った実現可能な案に見直すこと聞き、協議会が住民の意向を伝えようとして実施したものです。「基本方針」とは、地元が市に提案した駅前の将来像（「まちづくり構想」）に対し、その答えとして、市が地元へ提示されたものです。残念な事に、この「基本方針」が示されたにも関わらず、駅前周辺における歩行者の安全や交通の改善のための施策は停滞したままです。歩行者にとって安全で快適なまちに程遠い現状では、高齢者や若者にとっても近寄りたく、駅前には衰退の一途を辿っています。

市はこの現状を踏まえ早期に、

改善計画とその実施に向けた体制づくり、そして、市と地元が協働して取り組む仕組みづくりに着手する必要があります。

**2. “都そば前”道路の改善策について**

去る4月28日、本町3丁目の青年会館で市の土木部道路建設課からその改善策についての説明がありました。地元からは3丁目の自治会や一番街、銀座通りの方々が参加され、意見交換が行われました。市の案は信号の設置により横断歩道を整備する内容でした。

（詳しくは6月上旬号の“じゃすとナウ”でお知らせします。）

アンケートでも、“一番危険な所”と指摘され、駅前にとって長年の課題であった“都そば前”が、安全に横断や歩行が出来るように、市が改善に向け努力されています。参加した皆さんから、市の担当の方々に感謝の言葉が有りました。

ただ後日、「今度建つ新開地ビルの高さが決まっているため、歩道の切り下げに限界があり、理想的なものにはならない」との市の説明に納得がいかない、との意見が寄せられました。なぜなら、「新開地の建替えに併せて歩道高の改善整備をする事は、市と協議会の共通認識として有り、設計が確定する前に建設者側と市が調整をする事で決まっていた。この件に関し今まで建設者と具体的話し合いが続けられたとは到底思えず、結果駄目でしたとの報告だけであった。市は豊中駅前の整備について、市民の声に真剣に耳を傾け取り組

んでいるのか大いに疑問で、今後の協働の取組にも影響がある」というものです。この点については、早急に市に質す予定です。

**3. 刀根山道の舗装工事について**

長い間中断されていた工事はようやく、今年の秋ごろから着工される予定と聞いています。当初は、車道の路面を整備するための工事であったと聞いていますが、「刀根山道は住民にとっては“生活道路”であり、車より歩行者の安全を考えて欲しい」との強い意向から市との協議が始まり、刀根山道の改善運動がスタートしました。

担当の道路維持課は予算内の制約はあるものの最大限住民の要請に答えようと努力して頂いています。そのひとつが、地元自治会や協議会の要請に添えて、歩道のない側道に歩行者の安全確保のため、試みとして設置された「白線」です。

地域の課題を市の計画や工事に併せて市と住民との協働で順次解決して行く活動が、ま

ちづくりへの住民の参加意欲を高め、刀根山道だけでなく、まち全体の改善運動へと広がっていくことが判りました。協議会の通りの改善部会に新たな担い手が加わり「通りの改善に取り組む会」となり、活動が活発化してきています。

ただ、今回の舗装工事だけでは解決しない課題もあります。目に余る不法駐車の問題はもとより、歩行者中心の通行にするための交通政策、例えば“一方通行化”や“車道と歩道のあり方”を変えるなど、市との共同作業がなければ取り組めない課題をどのように解決して行くのか、今後の市の豊中駅前まちづくりへの更に積極的な姿勢と協力を期待しています。



『まちづくり構想』はまちづくり会社内 まちづくりセンターにあります。ご希望の方は1,000円にて頒布しております。

**会 員  
募 集 中**

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して  
住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費（一口以上何口でも）  
個人会員一口 300円  
商店会員一口5,000円

問い合わせ先：  
まちづくりセンター（協議会事務局）  
TEL / FAX: 06 - 6858 - 6190